

2013年(平成25年)

5月号 毎月1日発行

発行所 (株)ユーストカー 発行人 茂山伸/編集人 宮沢信行 (株)ユーストカードットコム

購読・広告のお申し込みは

☎03-3371-9340

第1号 定価525円(本体500円・送料別途)

本社〒169-0075

東京都新宿区高田馬場3-23-3 ORビル6階

☎03(3371)9340 FAX 03(3371)9596

www.u-car.co.jp

新創刊



オークション

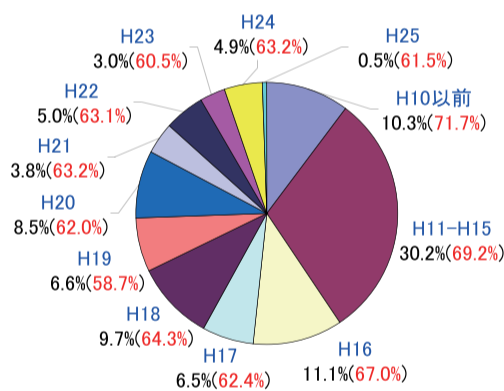
落札車の実態はこうだ!

円安効果で輸出向けが急騰

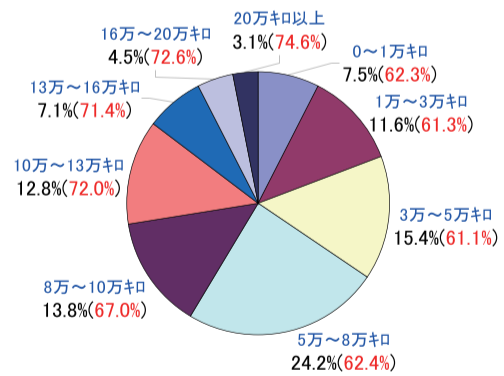
いまオークションで買われているクルマはどんなモデルなんだろう。今回、改めて分析してみた。年間最大の中古車需要期が過ぎ、オークション出品は一服感が漂っている。例年、3月をピークにオークション出品は下降線をたどり、相場もヨールデンウィーク前後に底値をつける。年初は高値で推移した中古車相場もここにきて弱くなっているもの、タマ不足も手伝って成約率は高水準で推移。なかでも低額車のニーズは依然高く活発な応札が続いており、ユーザーニーズがこうしたモデルに集まっていることがわかる。

過半数が16年式以前の車

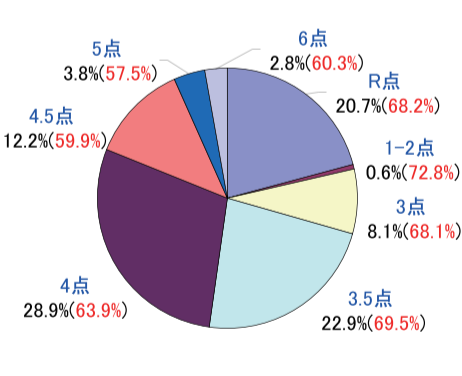
グラフ1 落札車の年式別シェア



グラフ2 落札車の走行距離別シェア



グラフ3 落札車の評価点別シェア



今年1~3月までのオークションを振り返ると、相場は強気で推移し、新車ディーラーや買取り店に大きな利益をもたらした。その一方で、小売り店舗はなかなか希望の金額で仕入れることができず、ビジネスチャンスを見失ったことも少なくないだろう。中古車相場に大きな影響をもたらしたのが中古車輸出。円安効果に後押しされ輸出業者の買いが強かったことも相場を押し上げる要因になった。

実際、1月~3月のオークションを分析した結果が次の通りだ。平均単価51万8千円、平均走行7万7千km、平均年式16年。グラフ1をみてほしい。成約車のうち、平成16年式以前のモデルが半数以上を占めるなど低年式車の需要が依然強いことがわかる。11年から15年が69.2%、10年式未満車の成約率が71.7%と、低年式になるにつれて成約率が高くなる傾向が浮き彫りになった。走行距離においても10万キロ以上の成約率が70%超と、10万キロ以下の車に比べて10ポイント前後高い結果(グラフ2)となっている。年式の古い車、多走行車については、出品店はほぼ

売りに切ることで、オークションでの買取保証などがあることから、こうした結果につながっている。予想できるが、5万キロ以下の良質車が最も成約率が低いという事実は、いまの価格重視のユーザー需要を物語っているといえよう。またAA流通のうち20.7%が修復歴車で、成約率は全体平均を3ポイント上回る68.2%となっている。さらに評価点が高くなるにつれて成約率が下がっていく傾向も興味深い。実際、評価4・5点より、4点、さらに3・5点の車のほうが成約率は高い(グラフ3)。

※カッコ内は成約率

入札接続100会場突破記念 入会キャンペーン実施中!!

入会金 30,000円無料!

詳しくはhttp://www.iauc.co.jp/

欲しい!見つかる!買える! 中古車仕入れのパートナー



〒102-0075 東京都千代田区三番町8-1 TEL.03-3512-6123 FAX.03-3512-6110 E-MAIL:info@iauc.co.jp

Table listing various car auction venues across different days of the week (月, 火, 水, 木, 金, 土) and their respective locations.

※上記は2013年5月現在の接続会場です。日産フランネル大塚・岐阜入札会は原則第一・第三火曜、日産フランネル仙台・栃木入札会は原則月1回開催です。GE東京入札会は原則第二・第四火曜、GE福岡入札会は原則第二・第四水曜、GE神戸入札会は原則第一・第三木曜開催です。スズキ入札会九州・東京は原則隔週火曜、スズキ入札会名古屋・神戸は原則隔週水曜開催です。smop札幌は原則隔週水曜開催です。サクラン入札会は原則隔週火曜開催です。AEP入札会は原則月1回開催開催です。